

# ニッワネーん まーじん

## ※肝付町大浦地域※

人口11人 (2016年10月1日)

最年少 72歳、最高齢 96歳 ⇒ 老年人口 100%

医療機関  車で1時間以上かかる。

町営の僻地患者車輸送バス 週1回

商店まで車で50分

農業中心 (稲作など)

→ サル、イモシの被害があることも  
住民は仲良く暮らしている

医療、食料  
生活環境etc  
不便なのは...?



なんで、住民はこんなに  
元気なのだろう。  
困ったことは本当に  
ないのだろうか。



肝付町の進める  
地域包括ケア

超高齢集落における  
ICT利活用

保健師、地元福祉事業所、民生委員  
が連携

"ITは、インフラだ"  
テレビ電話 H22年から導入  
記念石碑 (光ファイバー)

見守り



みんぷで  
見守り

容体変化に早急に  
気づくことができる!



高齢者振興会長と支える関係性

暮らしの知恵



消防団長  
民生委員

ふたつが  
支えるよ!

住民自身  
持ちつ持たれつ

ストッカーに食料確保  
菜園 鶏 スープ (自給自足)

「にえび」  
カンパニイロ

→ クロニで紹介



コミュニティの拠点

旧大浦小学校 にえび

みんなの集まる場所  
小学校の趣そのまま 笑顔

住民の声

「バスがあるから、不便じゃない。」  
「住めば都。大浦が大好き。」  
「みんなが居るから、僕は居る。」

大浦地区に住む人々が、幸せな日々を送る  
ことができるよう、定期的な健康チェック、  
ITの活用、他職種との連携など実施する。  
また、ケアが切れ目なくなされ、地域の  
特性を生かした健康な暮らしづくりをしていく  
こと、災害対策など新しい視野でアシスト  
していくことが大切。地域の人の幸せづくりの  
お手伝いをする保健師と、業者だなぁ。